

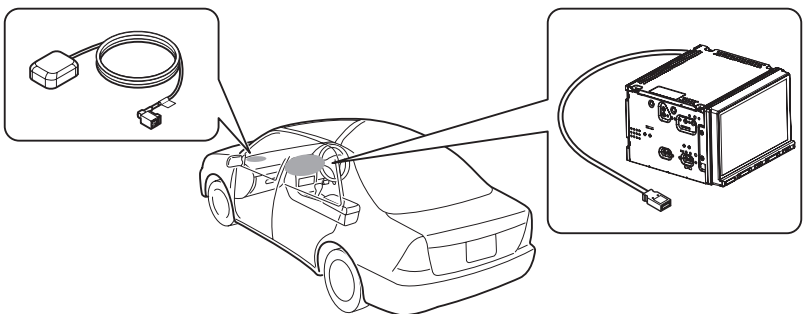
AVN-RBS01

取付説明書

お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
 - 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
 - 安全運転のため、ご使用の前に「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - 「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - 「取扱説明書」、「取付説明書（本書）」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
 - 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
 - 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一販売店様へー
- 取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお渡しください。

取付概要図



安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取振をすると、人が死にまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

：しなければならないことを表しています。

：してはいけないことを表しています。

：注意をしなければならないことを表しています。

警告

● 本機はDC12V（カー）専用です。
大型トラックや重積機種のデューセル等の24V車での使用はしないでください。火災の原因となります。

● 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。

△ 車体に穴をあけて取り付けの場合は、注意して作業を行ってください。
車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉しないよう注意して行ってください。火災の原因となります。

● ドリル等で穴あけ作業をする場合は、コーグル等の目を保護するものを使用してください。
破片等が目に入ったりしてケガや失明の原因となります。

○ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の、保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

○ 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。

● ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

○ 画面が出ない、音がしない等の故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

● 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがする等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず専門の業者へ修理に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

○ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてください。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると動作を起し、交通事故の原因となります。

○ 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めてください。
電源コードの被覆を剥き出しにすると、火災、感電の原因となります。

● 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁テープ等で絶縁してください。
コードにより火災、感電の原因となります。

● コード類は、運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめておいてください。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくこと事故の原因となり危険です。

● 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。

注意

この表示を無視して、誤った取振をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス

知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

警告

△ 車体のねじ部分、シフトレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となる場合があります。正しい配線を行わないで、火災や事故の原因となる場合があります。

注意

● 本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ず専門の業者に依頼してください。
誤った配線をした場合、車両に重大な支障をきたす場合があります。

○ 雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。
水漏れや湿気、埃、油煙が浸入すると、発煙や発火、故障の原因となる場合があります。

○ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。
本機が揺れて運転の妨げとなり交通事故やケガの原因となる場合があります。

● しっかりと確実に取り付けてください。
走行中の脱落や破損等、交通事故やケガの原因となります。取り付け場所の水や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。取り付けの状態（断線やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

○ 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるようなところへ取り付けしないでください。
金属部が高温になり、火傷をする可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となる場合があります。

○ 本機の通風孔や放熱口をふさがないでください。
通風孔や放熱口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。

● コードが金属部に触れないように配線してください。
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となる場合があります。

● コード類は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となる場合があります。

○ コード類を決して途中で切断しないでください。
コード類には、ヒューズ等が付いている場合があります。保護回路が働かず、火災の原因となる場合があります。

○ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。水につけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となる場合があります。

○ 本機を車載用として以外には使用しないでください。
感電やケガの原因となる場合があります。

● 本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。
取り付け、取り付けには専門技術が必要です。

● 遮断防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。
不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなったりする恐れがあります。

構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

● 本体関係

① メインユニット ×1	② 電源コード ×1
③ 中継コード ×1	④ 車両信号コード ×1
⑤ ハンズフリーマイク ×1	⑥ バックカメラコード ×1
⑦ 取り付けねじ（M5×6） ×8	⑧ ショートコネクタ ×6

● アンテナ関係

⑨ GPSアンテナ ×1
⑩ 金属シート ×1

地図はメインユニットに内蔵されています

その他の構成部品（取付説明書、保証書等の資料類）

作業の進め方

- 1) 構成部品を確認する (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの端子を外す (☞ 接続のしかた) (☞ システム接続例)
- 3) 接続を確認する (☞ GPS アンテナの取り付け注意)
- 4) GPS アンテナを取り付ける (☞ GPS アンテナの取り付け)
- 5) コードを配線する (☞ ハンズフリーマイクの貼り付け (例))
- 6) ハンズフリーマイクを貼り付ける (☞ メインユニットの取り付け)
- 7) メインユニットを取り付ける (☞ メインユニットの取り付け)
- 8) バッテリーの端子を元に戻す (☞ 取り付け後の設定・動作確認)
- 9) 設定および動作確認をする (☞ 取り付け後の設定・動作確認)

GPS アンテナの取り付け上のご注意

GPS アンテナの取り付け上のご注意を表記しています。必ずよく読んでから作業をおこなってください。

注意

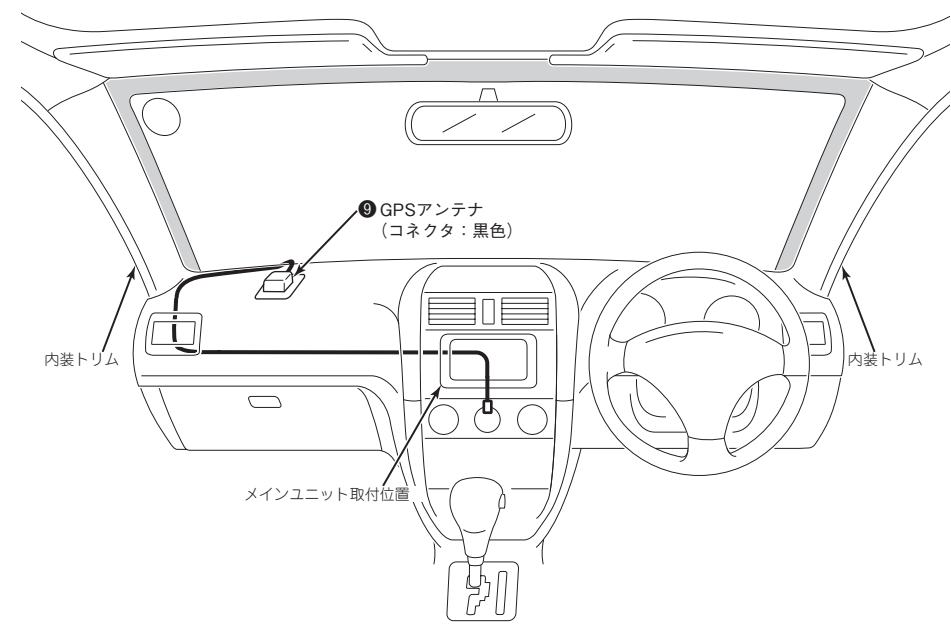
- GPS アンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPS アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となる場合があります。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

アドバイス

- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPSアンテナケーブルは、ラジオアンテナまたはラジオアンテナケーブルから30cm以上離して設置してください。GPSアンテナケーブルは、ラジオ放送の音声が干渉する可能性があります。
- GPS アンテナの貼付位置・貼付位置表面の汚れ、水分、油分などを十分ふき取ってから取り付けてください。
- GPS アンテナを貼り付ける際、気温が低い（20℃以下）ときは、粘着面の粘着力が低下します。車内ヒーターをONにして温めてから貼り付けてください。
- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できなくなったりする恐れがあります。必ず指定位置や方法を守るよう貼り付けた場合
- ※ 特殊なフロントガラスやフィルム（ミラータイプ、熱反射タイプや熱吸収タイプ等）を使用している場合

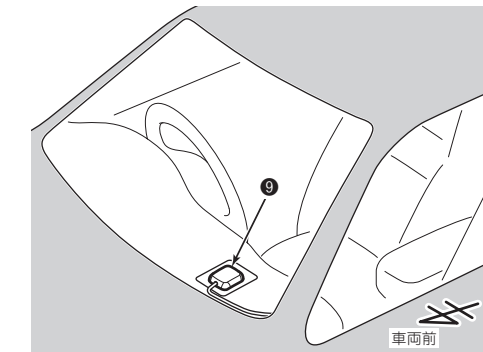
GPS アンテナ取付概要図

- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- ピラー配線時、内装トリムを取り外します（右側も同様）。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください（作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります）。



GPS アンテナの取り付け

1 GPSアンテナの貼付位置を決める

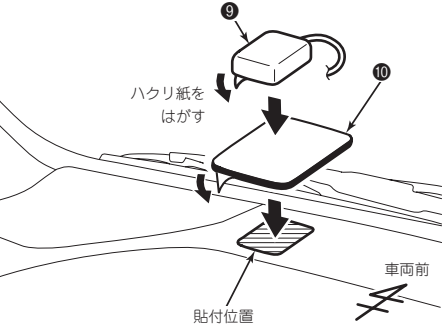


- ① ● GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。

アドバイス

- ● GPSアンテナは、照度センサー等を避け、電波の通れにくい平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 GPSアンテナを貼り付ける

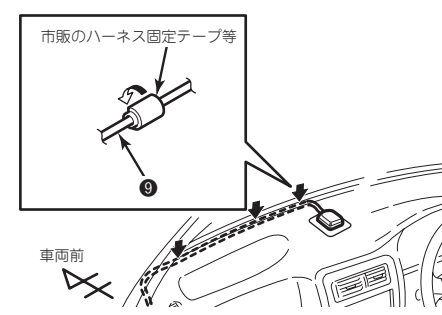


- ① ● 金属シートのハクリ紙をはがす。
- ② ダッシュボードに●金属シートを貼り付ける。
- ③ ●GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
- ④ ●金属シートに●GPSアンテナを貼り付ける。

アドバイス

- ● GPS アンテナを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

3 GPSアンテナコード

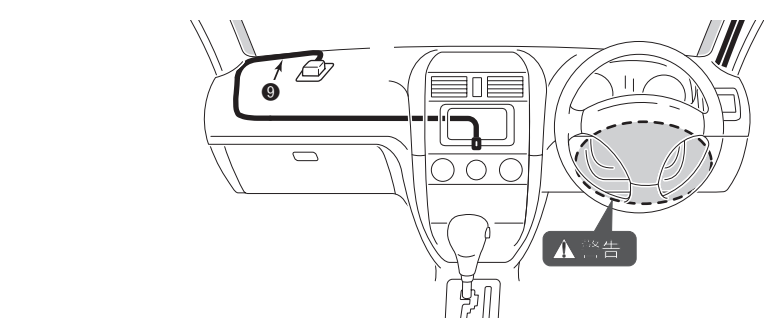


注意

- ● アンテナコードを強く引っばったり、負荷を掛けたり、かみ込んだりしないようにしてください。

アドバイス

- ● GPS アンテナコードは、ダッシュボード奥にコードを押し込みながら配線してください。



注意

- ① ● GPSアンテナコードお市販のハーネス固定テープ等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

警告

- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、市販のハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻きつくこと事故の原因となり危険です。

- 車内エンジン等を配線してください。干渉する場合は、エンジン部分に市販のハーネス固定テープを貼り付けてください。
- 車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。コードがかみ込んでしまう場合は、内装トリムに切り欠き等を入れてください。
- あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。
- コードは、市販のハーネス固定テープやバンドクランプ等の固定部材を使用して確実に固定してください。

キリトリ線 ✂

この資料は、法人向けの資料です。
裏面に記載の内容もよく読み、切り取って大切に保管してください。

ナビゲーション取り付け時の店舗情報の登録

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する

- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる

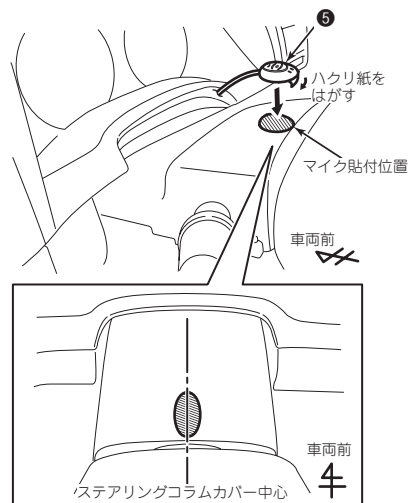


3 店舗情報および返却場所を登録する



● ハンズフリーマイクの貼り付け（例）

1 ⑤ハンズフリーマイクを貼り付ける

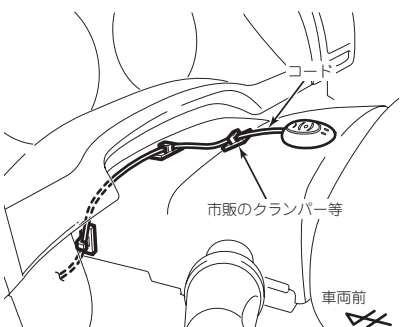


- ① ハンズフリーマイクのハクリ紙をはがす。
- ② ステアリングコラムカバーの中心に
- ③ ハンズフリーマイクを貼り付ける。

④ アドバイス

- ハンズフリーマイクを貼り付ける際、貼付位置表面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。
- ハンズフリーマイクは、チルト・テレスコピック時に車両部品と接触しない位置に貼り付けてください。

2 コードを配線する



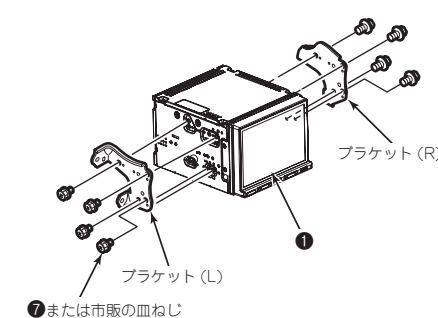
- ① ⑤ハンズフリーマイクのコードを市販のクランパー等で固定しながらメインユニット取付位置まで配線する。

⚠ 警告

- コードは、運転操作の妨げとならないよう、市販のクランパー等で固定してください。ステアリングやシフトレバー等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

● メインユニットの取り付け

1 車両のオーディオ、小物入れを取り外す



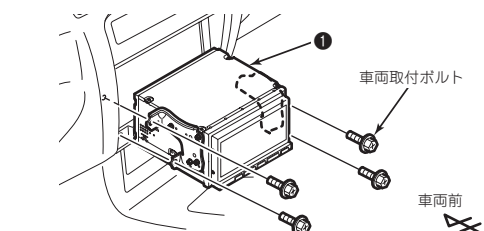
④ アドバイス

- 車両メーカーに応じてブラケット取付穴を導入してください。車種別の情報はイクリプス web サイト お客様サポート内の「ジャストフィットガイド」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/justfitguide/) をご確認ください。

- 必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず指定のねじ (M5×6) を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。ねじが必要な場合は、市販されている皿ねじ (M5×6) を準備して使用してください。

2 ①メインユニットを車両に取り付ける



- ① ①メインユニットに各コードを接続する。
- ② ①メインユニットを車両に取り付ける。

⑤ お願い

- 取付角度が大きな取付状態となる場合は、自車位置ズレ等のおそれがありますので、できるだけ水平に對して、35°以内の角度で取付けてください。
 - ディスプレイを手で押さないでください。
- 車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ (表示部) やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ (表示部) やボタンが破損する恐れがあります。

- センターコンソールの形状によっては、シフトレバー等に接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - メインユニットの取り付けが終わるまでパネルの保護シートは外さないでください。パネルの保護シートを外した状態でメインユニットの取り付けを行うと、ディスプレイに傷が付く恐れがあります。
- また、操作時は必ず保護シートを外してください。外さないで使用するとタッチパネルが正しく動作しないことがあります。

● 接続のしかた

- 車両信号の取り出しには必ず付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接続不良の原因になります。
- 接続しない端子等は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。
- 絶縁処理をしないとショートにより火災、感電の原因になります。
- 接続コードを本体に接続する前にアースコードを車両側に必ず接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。
- スピーカ出力端子と電源/アース端子を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
- HDMIケーブルを接続する際は、コネクタハウジングの長さが18mm以下の製品をご使用ください。長すぎる場合、他の部品や配線と干渉する可能性があります。

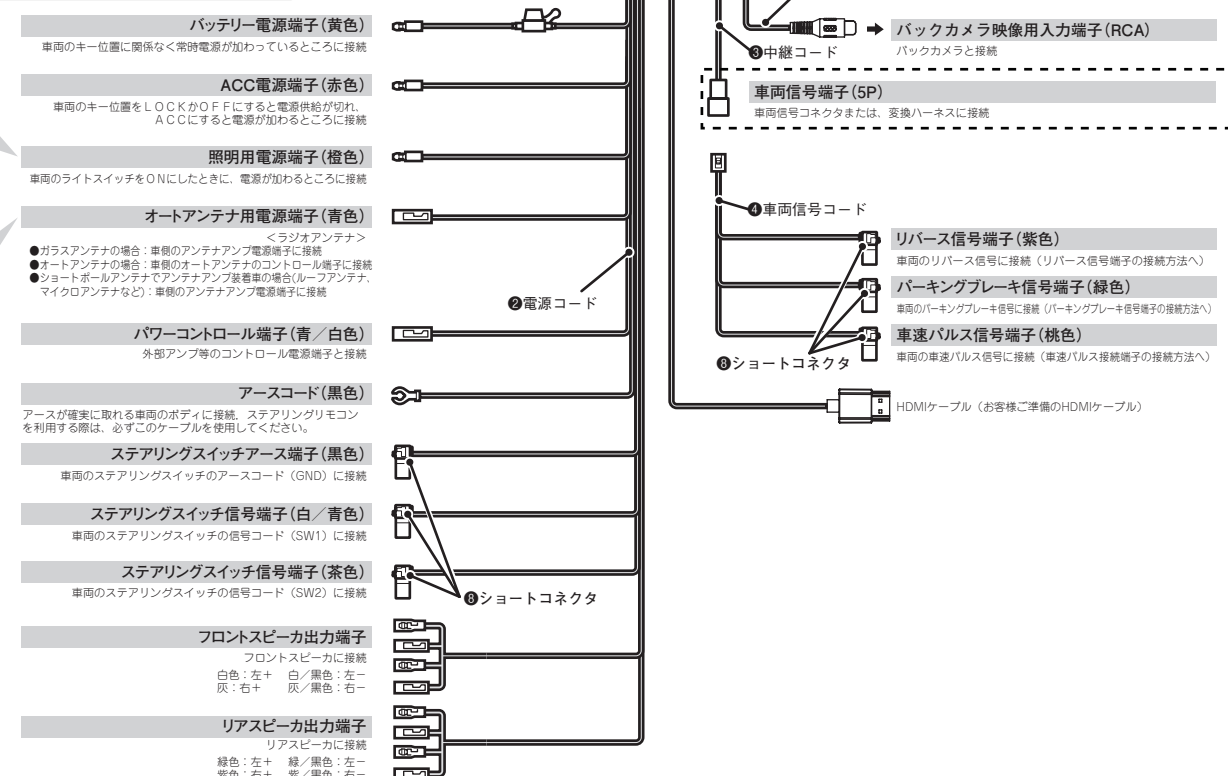
⚠ 注意

④ アドバイス

- 車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。
- 車両信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。
- ステアリングスイッチの接続先および適合情報については、イクリプスの Web サイト内「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。

- ⑤シフトレバー (例) 車種別変換コードが必要な場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。
- ⑥オートマチック (例) 車種別変換コードが必要な場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。

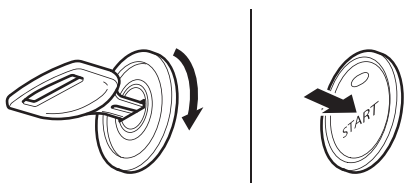
- ⑦オートマチック (例) 車種別変換コードが必要な場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプス web サイト内の「お客様サポート」(https://www.denso-ten.com/jp/ecclipse/support/) をご確認ください。



● お客様からの車両返却後の対応について

お客様から車両が返却された際、本機を初期化する必要があります。下記手順に従って、初期化を行ってください。

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



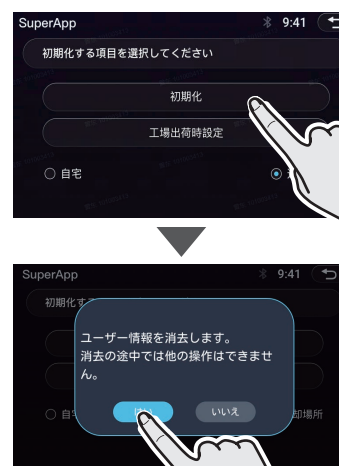
- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 「SuperApp」画面を表示させる



操作手順
MENU × 10 回押す → 「SuperApp」画面を表示

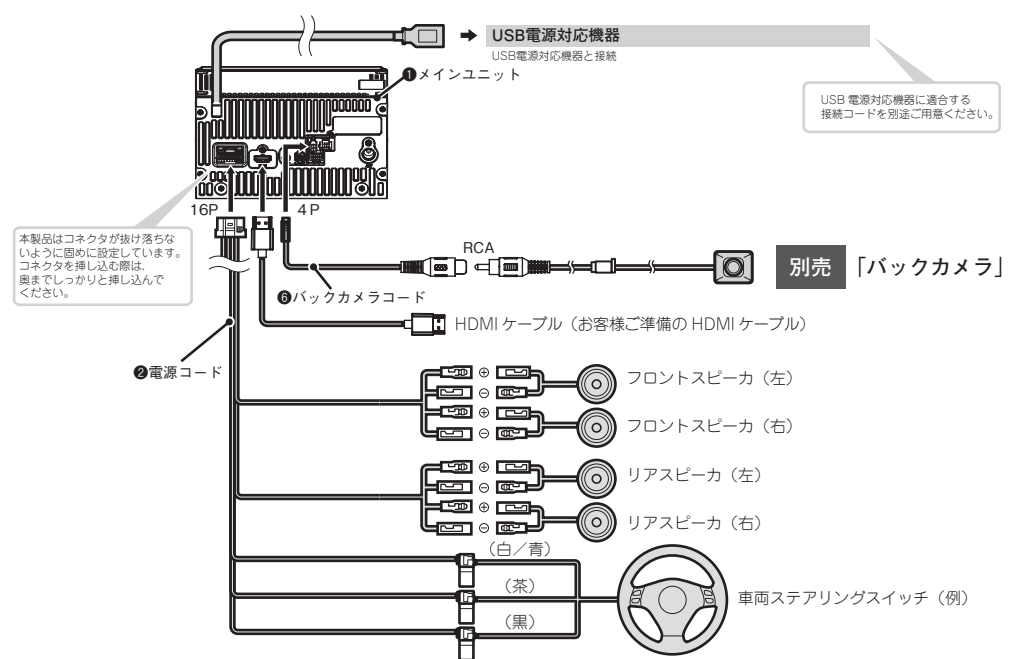
3 初期化を行う



操作手順
初期化 → 確認 → 再起動後、初期化完了

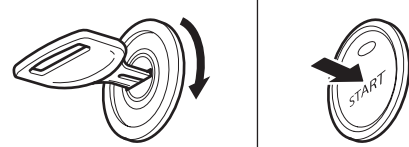
● システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。



● 取り付け後の設定／作動確認

1 車両のエンジンをかけ、ナビゲーションを起動する



- ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
- シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 初期設定をする

⑤ お願い

- 本体や周辺機器の取扱説明書を参照し、初期設定を行ってください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

- ① パーキングブレーキがかかっている事を確認してから、本体前面 **現在地** ボタンを押す。
- ② **メニュー** をタッチする。
- ③ **ナビ設定** をタッチする。
- ④ **GPS** をタッチする。
- ⑤ **GPSセンサー情報** をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

⑤ お願い

- GPS 受信感度
しばらく経っても GPS 測位の表示が「未測位」から変わらないときは、GPS アンテナの接続状態を確認してください。
- 車速/パルス
GPS・センサー情報画面で走行すると車速/パルス信号の状態を確認することができます。走行中、パルス回数表示が「0」から変わらないときは、車速/パルス信号の接続状態を確認してください。
- パーキング信号
パーキングブレーキがかかっている場合、表示が「ON」に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が「OFF」に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。
- リバース信号
バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が「OFF」に、バックギヤにシフトしている場合、表示が「ON」に変わります。表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。
- 初めて +B ON & ACC ON した後、加速度センサーやジャイロセンサーの調整、初期化を行うため、ACC ON 状態で3分ほど停車することを推奨します。